



議会だより

2018.11  
Vol. 60

# ふじかわぐちこ



トライアスロン教室を開催!!



- 議長就任あいさつ ..... 2P
- 委員会構成 ..... 3P
- こういうことを決めました ..... 4P
- 一般質問 ..... 7P
- 決算特別委員会 ..... 9P
- 窓・議会見聞録・編集後記 ..... 14P

# 議長・副議長 就任

平成30年第3回議会定例会が9月4日開会されました。

本会議において、議長選挙が行われ、第16代議長に堀内昭登議員が当選し、副議長に渡辺英之議員が就任しました。



副議長

渡辺 英之 議員



議 長

堀内 昭登 議員

## ◆議長就任あいさつ

富士河口湖町議会議長 堀内 昭登

平素より町政並びに町議会に関しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて今般の9月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、栄誉ある富士河口湖町議会議長の重責を担わせていただくことになりました。

改めてその職責の重さに身の引き締まる思いであります。

明日の富士河口湖町の発展とより良い町民生活の実現のため、公明・公正を心がけるとともに、円滑な議会運営に努めてまいりたいと考えております。

さて、我が国の社会情勢は、安倍政権の下での日本経済は回復基調にあると報じられておりますが、地方にはまだまだその実感は感じられない状況であります。また今後も少子高齢化、生産年齢人口の減少が進んでいくと言われております。

わが町の議会といたしましても、これらの課題により一層の創意工夫と努力を積み重ね、町民の負託にお応えし富士河口湖町の更なる発展のために執行機関とともに全力を尽くしてまいりたいと考えております。

町民の皆様の信頼と期待に応えられる議会運営を目指してまいる所存でありますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任の挨拶いたします。

# 議会の委員会構成が変わりました

9月の定例会で改選が行われ、委員会などの委員が新しくなりました。

◎委員長 ◎副委員長

平成30年9月20日現在

【議 長】 堀内 昭登		【副議長】 渡辺 英之						
総務常任委員会委員	◎渡辺 美雄 佐藤 安子	○渡辺 武則 井出 総一	古屋 幹吉 三浦 康夫	渡辺 英之	外川 満			
文教社会常任委員会委員	◎中野 貴民 山下 利夫	○倉沢 鶴義 佐藤 安子	半田 幸久 梶原 義美	外川 満 三浦 康夫	渡辺 美雄			
産経土木常任委員会委員	◎本庄 久 渡辺 武則	○山下 利夫 中野 貴民	古屋 幹吉 小佐野 快	渡辺 英之 堀内 昭登	半田 幸久			
議会広報常任委員会委員	◎三浦 康夫 外川 満	○古屋 幹吉 渡辺 美雄	渡辺 英之 山下 利夫	本庄 久 小佐野 快	半田 幸久			
議会運営委員会委員	◎小佐野 快 中野 貴民	○佐藤 安子 三浦 康夫	渡辺 英之 倉沢 鶴義	本庄 久	渡辺 美雄			
富士五湖広域行政事務組合議會議員	外川 満	渡辺 武則	井出 総一	倉沢 鶴義				
青木ヶ原衛生センター議會議員	古屋 幹吉 山下 利夫	外川 満 小佐野 快	渡辺 武則 堀内 昭登	渡辺 美雄 三浦 康夫	中野 貴民			
鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議會議員	古屋 幹吉 井出 総一	渡辺 英之 倉沢 鶴義	渡辺 美雄	中野 貴民	梶原 義美			
河口湖南中学校組合議會議員	古屋 幹吉 井出 総一	渡辺 英之	渡辺 美雄	中野 貴民	梶原 義美			
富士河口湖町水道運営審議会委員	古屋 幹吉 梶原 義美	渡辺 英之 井出 総一	渡辺 美雄	中野 貴民	小佐野 快			
富士河口湖町消防委員会	古屋 幹吉	渡辺 英之	渡辺 武則	山下 利夫				
富士河口湖町都市計画審議会委員	山下 利夫	小佐野 快	三浦 康夫	倉沢 鶴義				
富士河口湖町国民健康保険運営協議会委員	古屋 幹吉	渡辺 英之	外川 満	佐藤 安子	倉沢 鶴義			
富士河口湖町介護保険運営協議会委員	古屋 幹吉	山下 利夫	三浦 康夫					
富士河口湖町地下水保全審議会委員	梶原 義美	倉沢 鶴義						
富士河口湖町温泉事業運営審議会委員	古屋 幹吉	半田 幸久	梶原 義美					
河口湖簡易水道事業運営審議会委員	本庄 久	半田 幸久	外川 満					
富士河口湖町公共下水道審議会委員	渡辺 美雄	山下 利夫	佐藤 安子	小佐野 快	梶原 義美			
山梨赤十字病院運営協議会委員	半田 幸久	渡辺 美雄	梶原 義美	井出 総一	倉沢 鶴義			

# 定例会

# 会計決算を審議

平成30年第3回富士河口湖町議会定例会が9月4日に開会し会期を17日間と決めて9月20日に閉会しました。

本定例会に提出されました議案については、次のとおりです。

報告3件、条例の一部改正2件、町道路線認定1件、補正予算9件、同意案件3件、請願1件、決算認定33件を審議し、すべて原案のとおり可決、承認されました。

決算認定については、平成29年度一般会計、31の特別会計及び公営企業会計について、議会選出の監査委員を除く15名の議員で構成された決算特別委員会を設置し、9月6日から11日まで審議しました。

また、2人の議員から一般質問がありました。詳細は、7~8ページをご覧ください。

## 報告……………(3件)

### ◆平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告

	富士河口湖町の比率			早期健全化基準	財政再生基準	要因
	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
実質公債費比率(※1)	9.8%	8.9%	8.8%	25.0%	35.0%	公債費に対する税率等が増加したことにより改善した。
将来負担比率(※2)	56.3%	56.9%	52.7%	350.0%	—	実質の将来負担額が減少したことにより改善した。

※1 「実質公債費比率」とは、一般会計を含む普通会計とその他の対象会計の公債費など(年度の借入金返済費用)を含む返済金費用合計が自治体会計の規模に対してどのくらいあるかを表す指標です。この実質公債費比率が18.0%になると、地方債の発行について県の許可が必要となり、25.0%を超えると「早期健全化団体」となり自主的な改善努力による「財政健全化計画」の策定や外部監査の要求が義務付けられることとなります。また、「財政再生基準」の35.0%以上となった場合、その年度末までに「財政再生計画」を定める必要がでてくることとなります。

※2 「将来負担比率」とは、地方債残高、債務負担行為など普通会計とその他の対象会計が将来負担すべき実質的な負担額が、自治体会計の規模に対してどのくらいあるかを表す指標です。したがって、将来負担すべき債務が、自治体会計の規模に対して何倍あるかを示しています。この比率が350.0%を超えると「早期健全化団体」となります。

### ◆平成29年度富士河口湖町一般会計予算継続費精算報告書

平成28・29年度の2か年で整備された下表の継続費にかかる事業が完了したため、清算の報告がなされました。

事業名	事業年度	全体計画	実績
船津保育所建設事業	H28.29	10億4,500万円	10億4,253万円
八木崎公園整備事業	H28.29	2億8,000万円	2億4,544万円

### ◆平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

地方教育行政に関する法律の規定により見出しの事務の点検及び評価を実施し、その事業の評価や課題を毎年議会に報告するもので、効率的な教育行政を推進するとともに、これを町民に公表するものです。

詳細については、町ホームページをご覧ください。

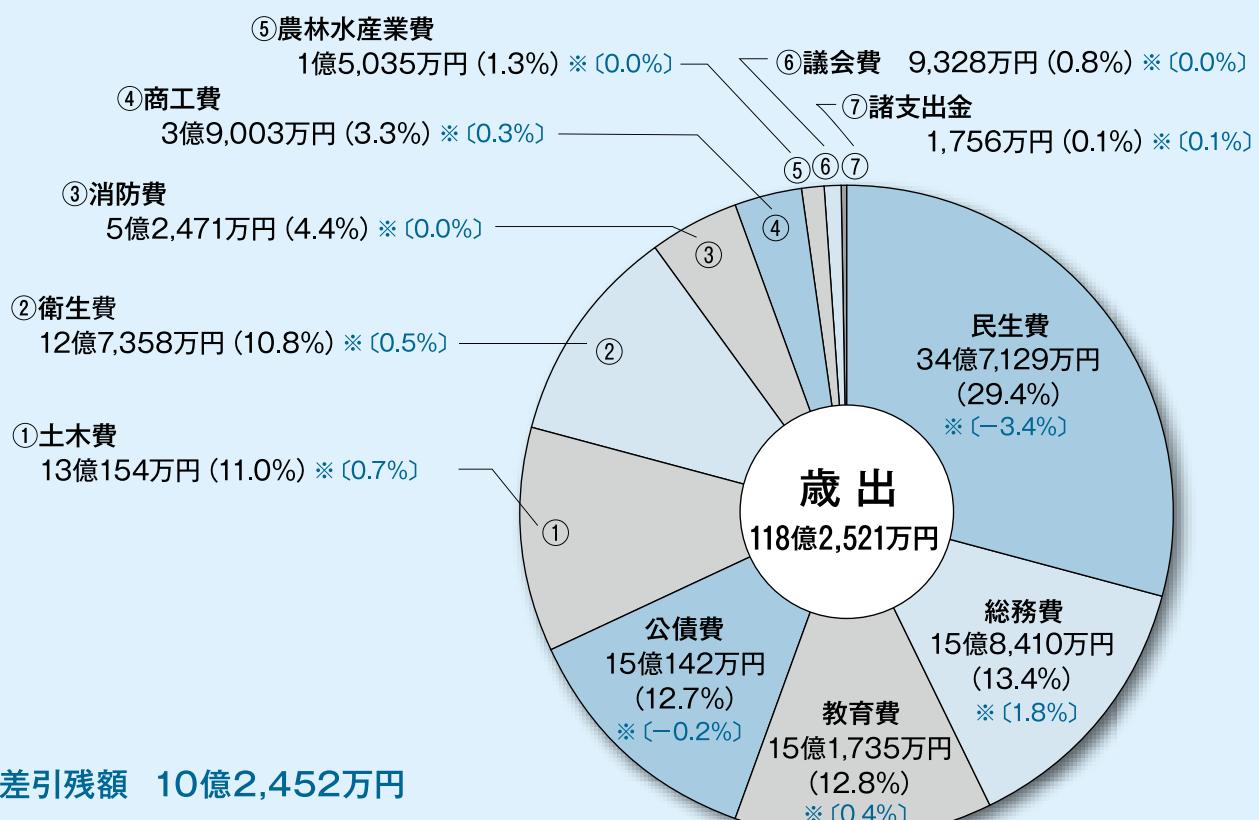
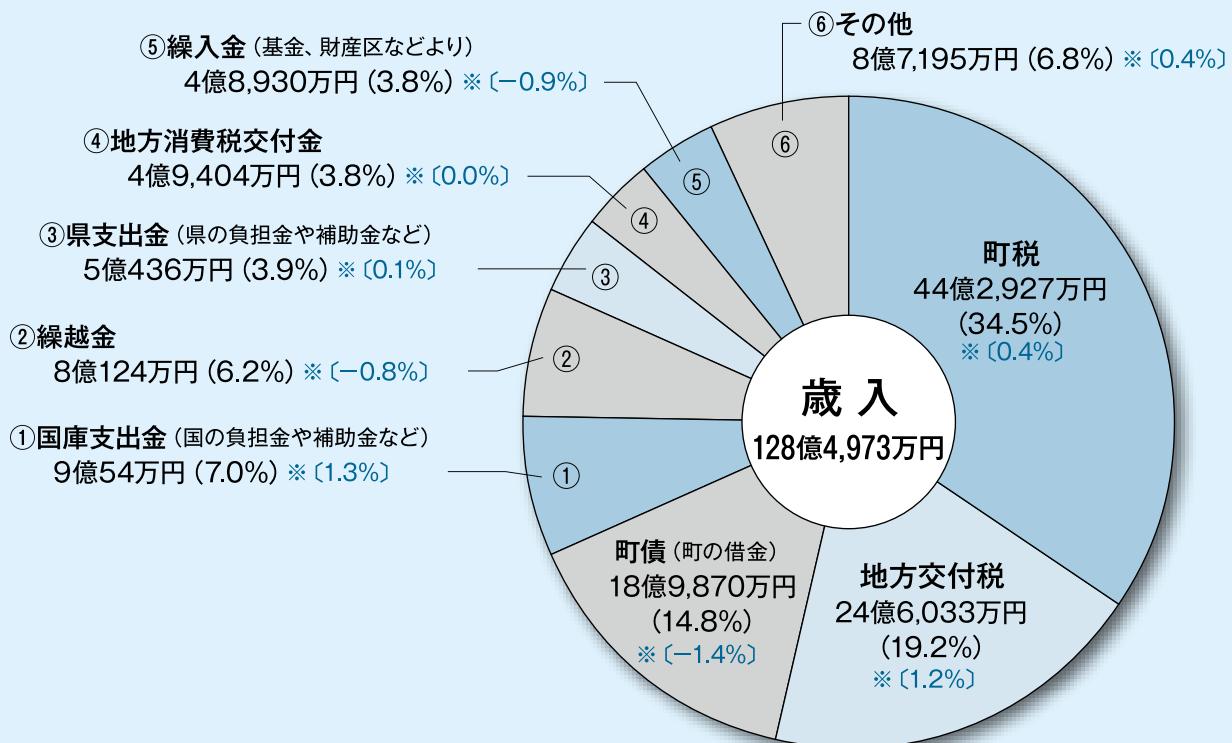
富士河口湖町ホームページ ⇒ 各課の情報 ⇒ 学校教育課

こういふことを  
決めました!

# 平成30年 第3回富士河口湖町議会

# 平成29年度一般

## 平成29年度 一般会計決算の内訳



差引残額 10億2,452万円

※ [ ] 内の青字は前年度との増減率

こういうことを  
決めました!

# 平成30年 第3回定例会

## 条例の一部改正……(2件)

- 富士河口湖町本栖獣区設置条例の一部を改正する条例  
(本栖獣区設置期間の満了に伴う改正)
- 富士河口湖町本栖獣区使用料徴収条例の一部を改正する条例  
(本栖獣区使用料の改正)

## 町道の路線認定……(1件)

- 町道0117号線(河口)、2139号線(河口)の路線認定

## 請願……(1件)

### 1. 教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

請願者: 南都留地区PTA協議会 会長 須田 俊介 外3名

紹介議員: 外川 満 小佐野 快

内 容: ゆたかな教育環境を整備するため、教職員定数改善、少人数学級の推進及び地方交付税を含む国における教育予算の拡充を要望する請願。

現在、教育の現場では、授業時数や指導内容が増え、生徒指導への課題が深刻化し、特別な支援を必要としている生徒が増加している。それらの現状が請願の理由となっている。

審議結果: 全員賛成で採択

## 補正予算……(9件)

### ◆平成30年度富士河口湖町一般会計補正予算(第3・4号)

補正後の歳入歳出予算の総額 121億8,325万円

〈主な歳入〉
・国庫支出金等 1,950万円
・県支出金等 1,219万円
・繰越金 4億6,517万円
・町債 1,720万円

〈主な歳出〉
・庁舎エアコン設置工事費等 1億3,840万円
・公共施設建設基金積立金 2億円
・スポーツキャンプ地誘致負担金 370万円
・後期高齢者医療連合負担金 2,665万円
・認定こども園委託料 5,000万円
・住宅リフォーム、耐震化事業補助金 470万円
・小立小ブロック塀撤去等工事費 266万円

## ◆その他、特別会計補正予算(7件)

## 同意案件……(3件)

- 大石財産区管理委員
- 勝山財産区管理委員
- 監査委員

堀内 隆嶺  
さすがれいじ  
流石 禮二  
いでのそういち  
井出 総一

## 組合議会議員補欠選挙

- 鳴沢・富士河口湖恩賜国有財産保護組合議会議員  
外川 壽雄(船津)  
とがわひさお
- 河口湖南中学校組合議会議員  
外川 壽雄(船津)  
とがわひさお



# 一般質問

**A**

町長

園児こそ、早目にということは重々承知している。小中学校は、公共施設建設基金と、国・県の補助等を期待し教育環境を整えたい。船津保育所とこ

保育所及び小・中学校へのエアコン設置を

**Q** 今年の夏は記録的な猛暑が続き、エアコンの必要性が高まっている。保育所は、学校や庁舎の次に進めていくとの町長の所信表明だが、保育所こそ急ぐべきではないか。3歳未満の乳幼児は身体のコントロールがうまくできない。また、園を視察したが、お昼寝中、園児は汗びっしょりになっていた。後回しにしないで検討をお願いしたい。



一般質問者  
佐藤 安子

そもそも保育所は設置されているが、残りをこれから順次進めてまいりたい。

## マイナンバー制度について

**Q** 今、マイナンバーって一体どうなっているのかという町民の皆様からのお話をお聞きする。今後、利便性が期待されるマイナンバーカードの申請状況と現時点利用できるサービスを伺う。

**A** 住民課長

7月末現在の人口26,399人に対する交付枚数率は

9・3%。マイナンバーを証明する書類、身分証明書、マイナポータルへのログインを初め、電子申請、子育てワンストップサービスなどの行政手続のオンライン申請などがある。コンビニ交付サービスは、住民票や印鑑証明書を取得できる。

## 高齢者の介護支援ボランティアポイント制度

**Q** 介護予防を目的とした65歳以上の高齢者が地域のサロン、外出の補助、介護施設等でボランティア活動を行った場合に自治体からポイントを付与し、貯まったポイントに応じて、商品との交換や保険料の軽減に利用できる自治体もある。



河口地区で開催のスマイルサロン

**A**

健康増進課長 介護ボランティアボ

イント制度は、介護予防や地域貢献へのきっかけ、高齢者の生きがいづくりになると考える。地域ケア会議、在宅医療推進協議会、生活支援体制整備事業の協議会、その他の検討会などの医師や各種事業所の事業従事者、町民を交える協議会等の意見やニーズ、あるいは先進自治体の状況や方法も聞きながら、事業実施に向けて取り組んでまいりたい。

## その他質問

学校での心肺蘇生教育の普及推進について

# 一般質問

知  
りたい

聞  
きたい!



一般質問者  
山下 利夫

## 一般質問

年に景観政策と防災政策を考慮して「生け垣推進に関する補助金交付要綱」を設置。平成20～29年度の10年間に41件の補助を行った。フェンスなどへの改修は、景観政策とかい離するが、今後の国の方針を待つて検討する。

は現行の48円に据え置くべきだ。

## 船津小海線への 信号機設置を

### 信号機設置を

Q 船津小海線の開通区間が延び、交通量が増えているが、町役場前の交差点からファーレストモール北の交差点までの区間は、信号機がない。特に、乳ヶ崎線との交差点は通学路となっており、保護者や地域住民からも要望が出されている。町や教育委員会としても、県公安委員会に信号機設置の要望を。

A 学校教育課長 児童生徒の登下校時ロック塀の倒壊で命を奪われる痛ましい出来事があった。9月議会で、町立小中学校内の危険性のあるロック塀撤去の予算が決まったが、民間住宅では、建築基準法の基準を満たしていない可能性があるブロック塀が残されている。町には、撤去や改修費用への補助金があるが、ブロック塀の撤去のみ、撤去しフェンスに改修する場合は対象とならない。それらを対象とした補助制度も実施を。

## 可燃ごみ焼却施設の 建て替えに關わる情報公開を

A 水道課長 今後の水道会計を考えると、維持管理に多額の費用がかかるため、据え置くことは難しい。また、国からも適正価格にすべきとの見解が示されている。

## 富士吉田市の環境美化センターが耐震化等の改修工事による影響について

Q 富士吉田市の環境美化センターが耐震化等の改修工事による影響についての質問に対する回答です。この改修工事は、施設の老朽化や安全性の確保を目的として行われます。改修工事によって、建物の構造強度が向上し、長期的な耐久性が確保されることが期待されています。また、設備の更新やエネルギー効率の向上など、環境面でも大きな貢献が期待されています。

## 上水道の 水道料金改定案の見直しを

A 環境課長 現状における事務レベルでの試算は、約322億円（内訳は、ごみ処理施設約220億円、造成約26億円、道路建設約59億円など）。町負担分は、現行施設で総額約22億円に対し、新施設は約27億円との試算である。

A 都市整備課長 危険なロック塀の改善は、困難な施工を伴い改善して安全性的の確保が難しいことから、平成15

Q 上水道（船津・小立・勝山）の水道料金を、基本料金と超過料金（使用水量21㎥以上）ともに引き上げる案（たと

# 町の予算が どう使われたかを審議

平成29年度決算



委員長  
**三浦 康夫**  
副委員長  
**渡辺 英之**

## 一般会計

歳入総額 128億4,973万円  
歳出総額 118億2,521万円

## 決算特別委員会

## 特別会計

国保税率のさらなる引下げを

国保税の滞納世帯数は。

**A** **Q** 今年度国保税を1人1万円、合計で約6,400万円引き下げた。しかし、答弁の黒字額から計算しても更に引き下げが可能と思うが、課長の考えは。

**A** **Q** 住民課長 県から示される納付金・標準保険料率をもとに、国保運営協議会に諮つて適正な保険税を検討していくたい。

**A** **Q** 平成29年度は黒字の決算だが、年度収支が幾らになっているか。

**A** **Q** 住民課長 単年度収支に積立金を足した額の合計で、1億1,817万円となる。

**A** **Q** それぞれの実態に即した対応をしている。  
**A** **Q** 住民課長 国保制度の目的は相互扶助であり、制度の理解を求めながら

**A** **Q** と思うが、どのように考えるか。

**A** **Q** 滞納世帯の多くは生活困窮者であり、滞納せざるを得ない状況にある

**A** **Q** 5月31日現在、611世帯となっている。

**A** **Q** 国保税が今年度各市町村から山梨県に変わったが、当町の税率、算定方式は他の市町村と違いはあるか。

**A** **Q** 住民課長 税率は各市町村に委ねられており、算定方式もそれぞれ別々な状態になっている。

## 介護のサービス充実を

**A** **Q** 総合事業は、決算年度において、今までの介護予防通所介護・訪問介護の単価と同じ金額で実施したのか。

**A** **Q** 健康増進課長 国の基準に沿い同額で進めて頂きたいが考えは。

**A** **Q** サービス単価は、利用者のサービス維持を充実していく為に今後も、同額で進めて頂きたいが考えは。

**A** **Q** 健康増進課長 総合事業は、現行相手として決めていく。

## 百歳体操

**A** **Q** 百歳体操に取り組んでいる方から「元気になった」と嬉しい話を聞くが、どれほどの団体があるか。

**A** **Q** 健康増進課長 住民グループ・ボランティアグループ、その他各地区を合わせて10グループ程で行われている。



## 上水道有収率の向上を

平成29年度の上水道（船津・小立・勝山）の有収率は前年度と比べてどうか。

**Q**

**A** 水道課長 65・5%で、前年度より0・2%減少した。

**Q**

**A** 有収率は、近年、増加していたが、減少したのは残念だ。有収率向上のためには、老朽管の更新を急ぐとともに、漏水調査も重要だ。上水道における平成29年度に発見した漏水箇所は5か所との説明だが、近年よりかなり少ない。業者はどのように選んでいるか。

**A** 水道課長 専門業者は近くにいないため、指名参加を頂いている業者からの見積もり合わせにより決定している。  
**Q** 実績が上がらない業者は外すなどの措置も必要だ。

## 基金積み立ての目的は

温泉事業会計で基金を1・322万円積み立てているが、目的は。

**Q**

**A** 水道課長 施設が老朽化しているため、平成29年度は急なポンプの交換があつた。そういうときのために積み立てている。

一方で、町債を770万円起こして工事をしている。その一方で積み立てをするのは整合性がない。

**A**

水道課長 検討して改めて回答する。

## 一般会計



### ふるさと寄付金の増額めざして

**Q** ふるさと応援寄付金が約2億円。いち早く億単位に伸ばした当町だが、その後横ばいとなっている。富士吉田市は、平成27年度9,000万円、平成28年度7億6,000万円、平成29年度17億6,000万円と、この数年、大幅に増えている。人口比率からすれば、当町はもう伸びてもよいはずだが。

**A** 政策企画課長 富士吉田市の伸びなど、先進事例も研究しつつ、増額をめざしている。

## 東京オリンピックパラリンピック誘致の費用軽減を

昨年7月に、フランスストライアスローチームのキャンプ地誘致の基本協定締結のために、町としてフランスを訪問している。その宿泊代が2人3泊で約25万円となっており、高額である。その理由は。

**Q**

**A** 政策企画課長 観光シーズンであつたため、また、県知事と同行し、同じホテルを利用する必要があつたためである。

**Q**

訪問のための業務を委託する業者を3社で見積もり合わせをして決めているが、選定された業者は、県と同じ業者になっている。それならば、県で一括して発注した方が、費用も抑えられるし、事務負担も軽減できる。県に要望するべきではないか。

**Q**

**A** 政策企画課長 県で一括して発注と手配をしていただき、各町村が負担金を支払うのも一つの方法であり、町長から県に要望したこともある。今後も検討したい。



## 決算特別委員会

# トライアスロン選手の練習環境づくりを

**Q**

フランストライアスロンチームは世界でもトップクラスのチーム。町の施設について要望は出ているのか。

**A**

**政策企画課長**

自転車は西湖周回の

コース、スイムは町民プールやホテルのプールなど、これだけの練習環境があり、また、温かい歓迎を受けたのは初めて、とのお褒めの言葉をいただいた。いまのところ大きな要望は来ていなが、今後あれば対応したい。

**Q**

土河口湖町の宣伝にもなるので、選手の練習環境づくりを積極的に取り組んでほしい。



## 自主防災マップの補助金は

**Q** **A** **Q** **自主防災マップの補助金がゼロ円だが、どういう原因で進まないのか。**

**地域防災課長** 平成28年度終了時点

で、各区自治会37・8%という進捗率で、地区により防災意識の温度差がある。今後防災マップの作成を積極的に呼びかけていく。

# 備蓄品について

**Q**

平成29年度防災の備蓄として充実を図ったとあるが、日玉として何か新規で備蓄したものはあるのか。

**A**

**地域防災課長**

海外の方が避難をする

定のハラル処理を考え備蓄食料を考慮して整備をしている。今後、保温を得るための金色と銀色のシート、女性用の備品等を検討に入れ整備を進めていきたい。

## 障害者などへのタクシーカードの助成制度について

**Q**

扶助費のうちの障害者などへのタクシ一代の助成制度について、実績と

**Q** **A** **Q** **対象者数、申請交付人数と枚数、そのうちの使用枚数、使用率は。**

**福祉推進課長**

対象者のうち肢体不自由1・2級の方が95名、視覚障害者1・2級の方が24名、療育手帳Aの方が

22名で計141名、申請者が50名、交付枚数が1,200枚、対象者に対する申請率は35・5%、これに対する使用枚数は489枚、対象者に対する使用率は14・5%、申請者に対する使用率は40・8%である。

# ハーブフェスティバルのPRを

**Q**

ハーブフェスティバルについて平成29年度富士河口湖町のPRをさらに強化して実施したということだが、その内

**A**

**観光課長** 平成28年度、29年度と八木崎公園整備ということで、平成28年度については、ほとんど公園が使えない状況で実施してきた。平成29年度については、各バス等うまく使いながら実施してきた。来年度に向け、今年度の残る問題点を把握した中で考えていきたい。

## 観光周遊バス路線拡充運営補助

**Q**

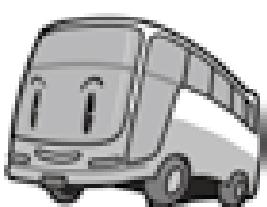
観光周遊バス路線拡充運営補助、いわゆる精進、本栖に行くバスで、

**Q** **A** **Q** **決算年度の乗車人数は。**

**観光課長**

平成28年度の乗車人2万1,843名、平成29年度は3

万3,403名が乗車している。月平均で2,780名となっている。前年度と比べ、15.3%の増加率が見受けられた。





## 空き家対策

空き家実態調査の結果は。

**A** **Q** 都市整備課都市計画係長 町内にある建物16,000件を調査対象とし、そこから空き家と思われる家屋600件余りを抽出、現地調査の結果、201件が空き家等として認定され、空き家バンクや空き家リフォーム事業等を活用して対策を進めていく。

**A** **Q** 災の面から対応が必要では。道路に面した老朽化した空き家は防災の面から対応が必要では。

**A** **Q** 都市整備課長 今後当町を含め県内7市町村でワーキンググループが設置され、それらをもとに計画を策定していく。

## 一般住宅リフォーム補助金

**A** **Q** 一般住宅リフォーム補助金の成果は。

**A** **Q** 都市整備課長 30件がこの制度を利用し、合計348万円の補助を行つた。

**A** **Q** 地元に経済効果があるようだが、工事の内容と全体の工事額は。

**A** **Q** 都市整備課長 バリアフリー化が一番多く、耐火、省エネ、外観のリフームで、全体で8,051万円になる。

## 学習指導支援員の確保は

学習指導支援員は確保できなかつたようだが対応できたのか。

**A** **Q** 学校教育課長 1名から2名を予定したが、確保できなかつた。管内の学校と連携し、支障のないよう対応した。

**A** **Q** 特別支援クラスなど必要になつてきているケースもたくさんある。今年度は大丈夫なのか。

**A** **Q** 学校教育課長 なかなか人員を確保するのは難しいが、各関係機関と協議し模索している。

## くぬぎ平サッカー場と本栖スポーツセンター

**A** **Q** くぬぎ平サッカー場は利用料金を下げて利用頻度が上がったというが、収益金額は上がったのか。

**A** **Q** 生涯学習課長 28年度のサッカー場の利用者の人数は5,980人、29年度は9,702人で、約3,700人増。使用料収入は、28年度が75万円、29年度は103万円で、28万円ほど増えた。

**A** **Q** 本栖スポーツセンターの29年度の運営状況は。

**A** **Q** 生涯学習課長 28年度に比べ利用者数は多くなつていて、収益的にはまだ赤字である。

## ステラ、美術館、円形ホール

ステラシアターの管理費で賃金の不用額332万円があるが、人數的に厳しい状況で運営できたのか。

**A** **Q** 文化振興局長 8月の音楽祭の期間だけ勤めてくれた方がいた。また9月と3月に1名ずつ採用し、対応した。

**A** **Q** 美術館の管理費が前年度比300万円減で、3,564万ということだつたが、この減額でも管理運営は成り立つたのか。

**A** **Q** 文化振興局長 その金額で「ふるさと振興財団」は運営できたとの報告である。

**A** **Q** ステラシアターと円形ホールの使用料収入は。

**A** **Q** 文化振興局長 ステラシアターが346万円。円形ホールは218万円。





## 決算特別委員会

### 総括質疑

一番の財源である町税等の収納対策は、どう進めたのか。

**Q**

平成29年度決算上では、台風による倒木等の被害もなく済んだが、先日の台風では、町の各所で倒木の被害があつた。災害時は、各担当課に振り分けられた対応でなく、一元管理をしてほしい。

**A**

**町長**

地方財政法上、各分野での予算化が求められているが、災害時は情報を一早く入手し、情報の一元化による集約した対処をしていきたい。

**Q**

ハーブフェスティバルの八木崎公園の来場者数は、平成28年に約12万人だったのが、平成29年に4万3千人、今年度は5万6千人。町全体では、平成28年27万人、平成29年26万人、今年度26万8千人ほど。今後、各財産区の負担金割り振りをどのように考えるか。

**Q**

ハーブフェスティバルの八木崎公園の来場者数は、平成28年に約12万人だったのが、平成29年に4万3千人、今年度は5万6千人。町全体では、平成28年27万人、平成29年26万人、今年度26万8千人ほど。今後、各財産区の負担金割り振りをどのように考えるか。

**Q**

ハーブフェスティバルの八木崎公園の来場者数は、平成28年に約12万人だったのが、平成29年に4万3千人、今年度は5万6千人。町全体では、平成28年27万人、平成29年26万人、今年度26万8千人ほど。今後、各財産区の負担金割り振りをどのように考えるか。

**Q**

友好都市交流事業の成果をどのように捉えているのか。

**A**

**町長** 平成29年度、ツエルマットへは子供たちが派遣され、帰国後発表会を開き、子供たち皆が輝いていて大変感動的だった。今後も国際的人材の育成という観点から続けていきたい。

**A**

**税務課長**

平成23年度から実施してきたアクションプランにより、徴収率は一貫して改善されてきた。納税意識が向上し、収税方法も改善された。これまでのノウハウ、滞納債務の諸施策を的確に実施してきた結果、徴収率の向上につながってきていると考えている。

**A**

**不納欠損はどう考えるか。**

**A**

**税務課長** 税法上、時効と執行停止があるが、税の公平性を考慮した上で適正に処理していきたい。

**A**

**起債のかなりの金額が交付税措置されるが、今後もできるだけ有利な起債を活用してほしい。**

**A**

**総務課長** 平成32年度で合併特例債の発行は終わり、地方債の発行残高は減少していくだろう。事業執行に当たつては、なるべく交付税措置があるものを選びながら起債発行していきたい。

**A**

**平成29年度決算の総括質疑として町長の考え方とは。**

**A**

**町長** 税収が合併後初めて44億円を超え、実質収支が10億円の黒字となり、大変うれしく安堵している。町民各位に感謝を申し上げるとともに、今後の財政運営に活用させていただきたい。

**7月豪雨災害・北海道胆振東部地震に伴う義援金について**

7月豪雨災害・北海道胆振東部地震で被災に遭われた方々を支援するため、富士河口湖町議会では、義援金としてそれぞれ10万円を日本赤十字社に届けていた。だくようによる山梨赤十字病院の今野述院長に正副議長から手渡しました。



# 「地域と共に」

大嵐小学校 校長 佐野 三代司

九月十六日、一日延期となりましたが、大嵐小・大嵐区合同運動会が穏やかな天候のもとで行われました。

思い返しますと、昨年は台風の影響のため実施の判断に迷うところでしたが、区長さんをはじめ地域の方々から「小学校の種目優先で良い。区民も小学校の子どもたちのがんばる姿を見に来るのだから。」というありがたい言葉をいただき、臨時プログラムにより小学校の全種目を実施して、午前中だけ終了しました。本当にありがとうございました。運動会でした。それだけに今年は、是非地域との合同運動会だけです。

今年の運動会でも、児童は、練習以上の出来映えで見事に全ての種目をやり遂げました。見守る大勢の保護者や地域の方々からは、「子どもは地域の宝」と、日頃より声をかけていただいていることへの感謝の思いを一層強くしました。

区民の皆さんの中にも、老若男女が楽しく参加できるよう工夫を凝らし、地域のふれあいの楽しさを感じさせるものばかりでした。特に、児童と区の合同種目である

九月十六日、一日延期となりましたが、大嵐小・大嵐区合同運動会が穏やかな天候のもとで行われました。

思い返しますと、昨年は台風の影響のため実施の判断に迷うところでしたが、区長さんをはじめ地域の方々から「小学校の種目優先で良い。区民も小学校の子どもたちのがんばる姿を見に来るのだから。」というありがたい言葉をいただき、臨時プログラムにより小学校の全種目を実施して、午前中だけ終了しました。本当にありがとうございました。運動会でした。それだけに今年は、是非地域との合同運動会だけです。

今年の運動会でも、児童は、練習以上の出来映えで見事に全ての種目をやり遂げました。見守る大勢の保護者や地域の方々からは、「子どもは地域の宝」と、日頃より声をかけていただいていることへの感謝の思いを一層強くしました。



大嵐小・大嵐区合同運動会

「関所破り」は、児童が手をつなぎながら走る姿がたいへん微笑ましく、参加した誰もが笑顔になる楽しい種目となりました。

全員参加種目「足和田音頭」では、たくさんの方に参加していました。だき楽しいひとときを過ごすことできました。当初は、一重の円で踊る予定でしたが、参加者の多さに急遽円を二重にする程度でした。地域を大切にする大人の姿を見ることで見せることが、地域への愛着を育てるにつながります。改めて運動会に携わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

温かい地域の方々に支えられ、大嵐小学校の児童は伸び伸びと育っています。今後も「地域に支えられ、地域と共に歩む学校」でありたい、と思っています。

## 議会 見・聞・録

テレビで議会を見ていると、やはり眠くなります。内容が分かりにくいと思うのは私だけでしょうか?とは言っても議会のある時はなるべく見るように心がけています。広報や議会だよりを目にして、「あ、これはこの前の議会で取り上げられたことだな」なんて思ったりするときは、やはり議会を見ておくとわかりやすいと感じます。

とは言え、いつもはぼーっと見てしまうのですが、今回の

9月議会は議長選挙があり、いつもと違う雰囲気が楽しめました。各議員が一人ひとり投票箱のすぐ近くまで行き、その場で記名して投票していました。厳粛で重たい空気が画面を通して伝わってきました。私だったら緊張して間違えて書いてしまいそうです。こうして選ばれた新しい議長さんは、さぞ責任を感じながら議長席に向かわれたことでしょう。議事の運営は議長の手腕にかかっているとのこと。当分、

(河口地区女性)

議会を傍聴しませんか?

次の定例会は12月です

どなたでも傍聴できます。  
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。  
入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

●議会広報常任委員会	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
廣報委員9名は町民目線で「公平」「公正」をモットーに暮らしやすい地域社会を目指します。	広報委員9名は町民目線で「公平」「公正」をモットーに暮らしやすい地域社会を目指します。							
（三浦 康夫）								
小佐野 利夫	山下 渡辺 外川 半田 本庄	渡辺 三浦 康夫	古屋 幹吉	英之 幸久	久	久	久	久
快 满 雄 美	満 雄 美	英之 幸久	幹吉					

議会だより  
ふじかわぐちこ Vol.60 2018.11

発行:富士河口湖町議会 編集:議会広報常任委員会  
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167